

第8章 各主体の役割

基本理念や基本施策等の実現に向け、より効果のある取組を推進するため、各主体がそれぞれの役割を果たしながら、地域全体で連携・協力して取り組んでいきます。

主体	役割
宇都宮市	<p>市は、プランに位置付けた施策・事業を着実に実施するとともに、施策・事業の進捗状況を把握し、経済社会情勢の変化に応じて、適宜施策・事業の見直しを行い、中小企業の現状や実情に応じた施策・事業の推進に努めます。</p> <p>施策・事業の実施にあたっては、国や県、中小企業支援団体等の関係機関と連携し、円滑かつ効果的に取り組むよう努めます。また、工事の発注、物品やサービスの調達等にあたっては、中小企業の受注の機会の増大に努めます。</p>
中小企業	<p>中小企業は、経済社会情勢の変化に対応してその事業の発展を図るため、自主的にその経営の改善及び向上に努めます。</p> <p>また、地域における雇用機会の創出、従業員の労働環境の整備及び福祉の向上に努めるとともに、その事業活動を通じて地域社会及び市民生活の向上に貢献します。</p>
中小企業支援団体	<p>中小企業支援団体は、中小企業の経営の改善及び向上を図るための取組を積極的に支援するとともに、市が実施する中小企業の振興に関する施策・事業へ協力します。</p>
金融機関	<p>金融機関は、中小企業の円滑な資金調達、経営の改善及び向上に協力します。</p>
大企業	<p>大企業は、中小企業が自らの事業活動や、地域経済及び社会に果たす役割の重要性について理解を深め、市が実施する中小企業の振興に関する施策・事業へ協力するとともに、中小企業の発展に貢献します。</p>
教育機関等	<p>地域の次世代を担う人材を育成する小学校、中学校、高校等の学校では、勤労及び職業に対する意識の啓発を行うとともに、中小企業と連携・協力して、職場体験活動等の実践的で充実した学習を行います。</p> <p>大学及び専修学校等は、市内企業で活躍できる専門的な技術や能力を備えた人材を育成するとともに、産学連携等によって、新たな技術開発や企業の技術力向上等に貢献します。</p>
市民	<p>市民は、中小企業の振興が地域経済の活性化、地域における雇用機会の創出など、市民の生活の向上に寄与することについて理解し、中小企業が生産する製品やサービスの利用を通じて中小企業の発展に貢献します。</p>

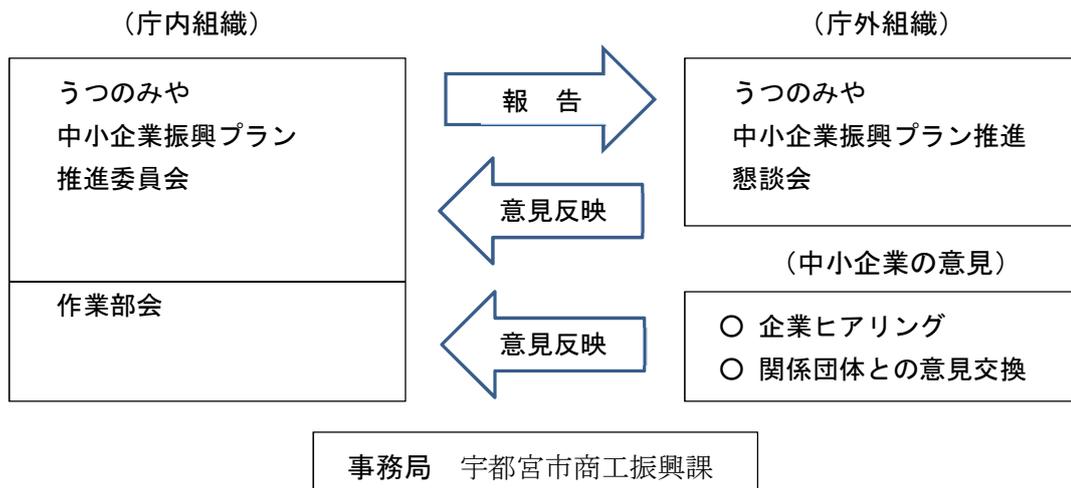
第9章 プランの推進体制

プランの推進にあたり、市は、毎年度、うつのみや中小企業振興プラン推進委員会やその下部組織である作業部会を開催し、前年度の進捗状況を検証し、その結果を、中小企業や中小企業支援団体、金融機関等で構成される庁外組織に報告するとともに、プラン進行上の課題等について庁外組織委員から意見を聴取し、次年度の取組に反映させます。

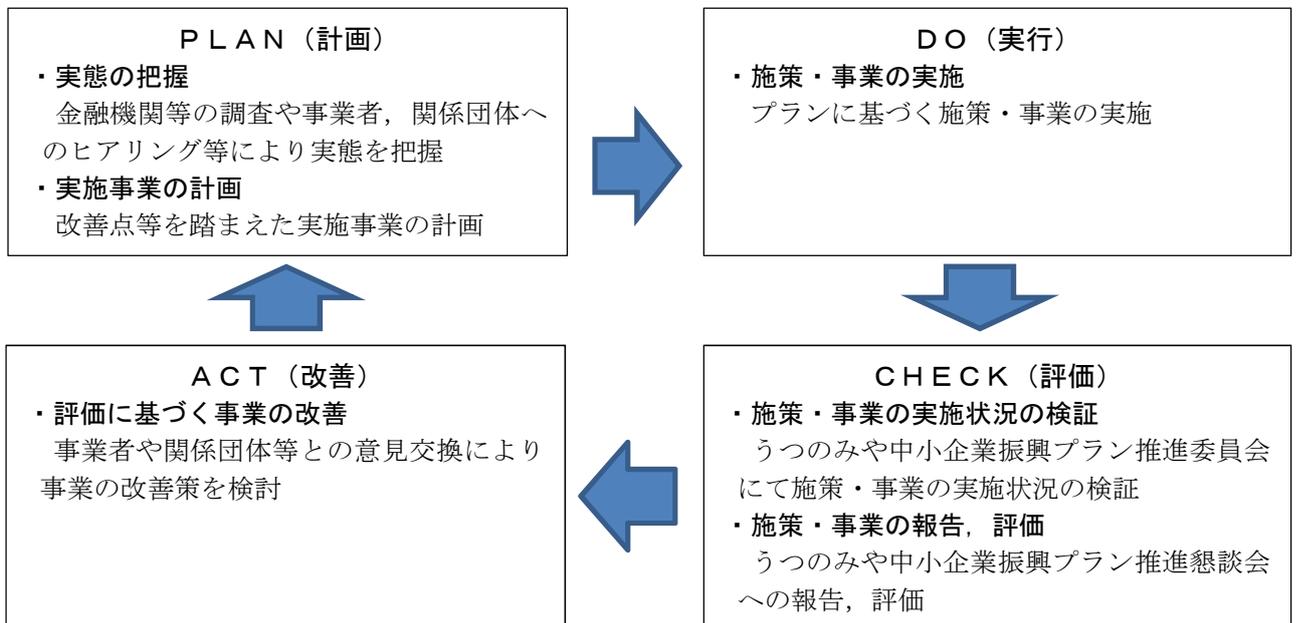
また、市は、中小企業や関係団体等との意見交換の機会を活用し、地域における連携を進めるとともに、中小企業支援団体や金融機関等が行う景気動向調査などで全体傾向の把握にも努め、施策への適切な反映を図ります。

さらに、全ての中小企業が、経営力強化や生産性向上等による成長・発展に対する意識を高めていくため、各種施策・事業を着実に推進できるよう、関係団体を通じた周知など、きめ細かな手法を用いて意識啓発を図っていきます。

● 委員会、懇談会等体系図



● 進行管理の流れ



資 料 編

資料編

1 各種統計資料

(1) 本市経済規模の中核市との比較

- ・宇都宮市内の事業所で生み出された付加価値額は平成28（2016年）時点で1兆3,320億円であり、中核市62市中2番目となっています。人口規模が6番目であることを踏まえると、人口規模に比べ経済規模が大きい自治体であると言えます。
- ・本市は製造業だけでなく、商業・サービス業など幅広い業種がバランスよく集積していることが要因であると考えられます。

図表1 中核市との付加価値額の比較（中核市上位20市）

	付加価値額 (公務を除く)	人口	付加価値額 順位	人口 順位
豊田市	2,663,288	422,225	1	17
宇都宮市	1,332,036	521,104	2	6
姫路市	1,227,945	534,127	3	5
金沢市	1,216,927	451,018	4	14
富山市	1,178,105	414,102	5	18
東大阪市	1,128,784	485,928	6	8
鹿児島市	1,111,434	601,546	7	3
八王子市	1,080,425	561,828	8	4
高松市	1,048,403	426,260	9	16
尼崎市	982,829	462,820	10	13
倉敷市	975,631	481,537	11	10
大分市	963,453	478,463	12	11
福山市	922,950	466,863	13	12
松山市	907,046	509,483	14	7
岡崎市	901,383	386,252	15	25
高崎市	891,793	372,189	16	30
長野市	880,578	374,038	17	29
船橋市	841,738	644,966	18	1
長崎市	820,826	411,505	19	19
岐阜市	817,706	407,387	20	21

出典：宇都宮市 うつのみや産業振興ビジョン

(2) 本市企業の売上高・付加価値額等（産業分類別）

- 平成28（2016）年の産業別の売上高，付加価値額の内訳を見ると，いずれも商業（卸売業，小売業）が最も多く，次いで，製造業，医療・福祉の順に多くなっています。

図表2：宇都宮市の産業別売上高，付加価値額

産業大分類	平成28年				平成24年			
	売上高（億円）		付加価値額（億円）		売上高（億円）		付加価値額（億円）	
		構成比		構成比		構成比		構成比
合計	82,682	100	13,320	100	67,490	100	11,047	100
農林漁業	116	0.14	33	0.25	60	0.09	21	0.19
鉱業，採石業，砂利採取業	7	0.01	1	0.01	11	0.02	2	0.02
建設業	5,035	6.09	1,035	7.77	4,104	6.08	865	7.83
製造業	21,424	25.91	3,072	23.06	17,003	25.19	2,596	23.5
電気・ガス・熱供給・水道業	34	0.04	71	0.53	257	0.38	237	2.15
情報通信業	996	1.2	313	2.35	1,024	1.52	345	3.12
運輸業，郵便業	1,400	1.69	552	4.14	1,435	2.13	431	3.9
卸売業，小売業	28,781	34.81	3,086	23.17	24,447	36.22	2,360	21.36
金融業，保険業	5,759	6.97	901	6.76	4,503	6.67	782	7.08
不動産業，物品賃貸業	1,280	1.55	301	2.26	1,212	1.8	292	2.64
学術研究，専門・技術サービス業	947	1.15	623	4.68	830	1.23	590	5.34
宿泊業，飲食サービス業	1,268	1.53	377	2.83	769	1.14	325	2.94
生活関連サービス業，娯楽業	2,202	2.66	626	4.7	1,668	2.47	292	2.64
教育，学習支援業	570	0.69	277	2.08	499	0.74	313	2.83
医療，福祉	10,702	12.94	1,061	7.97	7,936	11.76	920	8.33
複合サービス事業	289	0.35	139	1.04	156	0.23	44	0.4
サービス業（他に分類されないもの）	1,863	2.25	843	6.33	1,577	2.34	631	5.71

出典：宇都宮市 うつのみや産業振興ビジョン

(3) 地域経済循環の状況

- 宇都宮市は第2次，第3次産業を中心に付加価値額を生み出しており，分配（所得）の面で見ると，市外からの労働者の流入や企業活動により，雇用者所得，その他所得ともに市外に資金が流出しています。支出の面で見ると，民間消費は市外への流出が見られるものの，市外からの民間投資の呼び込みや移輸出超過の影響により，全体としては，市外からの流入が大きくなっています。
- 生産（付加価値額）を分配（所得）で除した，地域経済の自立度を量る地域経済循環率は117.9%と100%を大きく上回っており，市外から流入する所得に対する依存度が低く，経済的に自立していると言えます。

(4) 本市製造業の他地域との比較

- ・宇都宮市の製造品出荷額等は中核市62市中6位であり、上位5市は世界的な自動車製造の中心地である豊田市や岡崎市、臨海部に素材系の大規模工業用地を有する都市となっています。
- ・事業者数や従業員数を見ると、製造品出荷額等と比べて順位は低いことから、本市の製造業は「1事業所当たり」や「従業員1人当たり」の製造品出荷額等が比較的高いことが分かります。

図表3：中核市との比較（製造品出荷額等，上位20市）

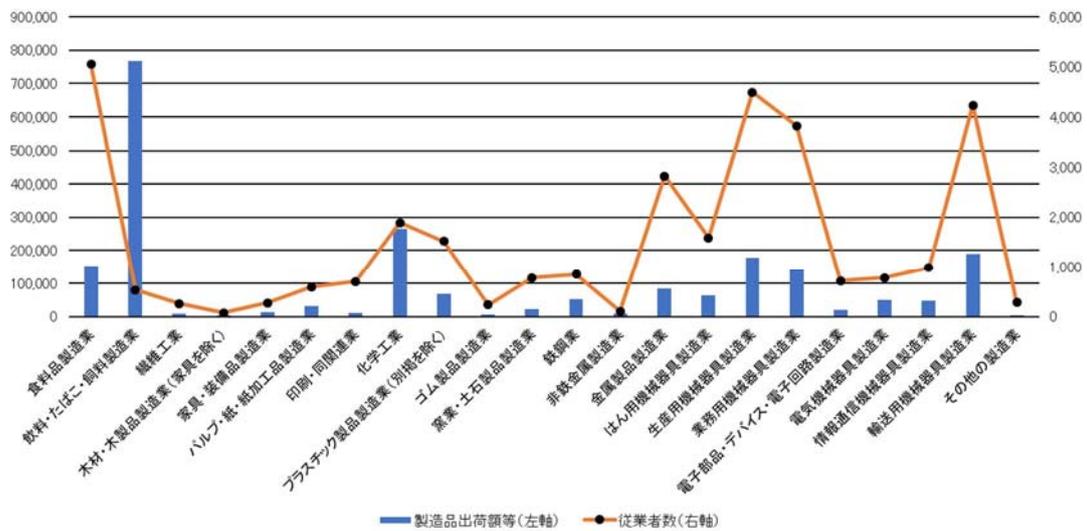
市名	製造品出荷額等（百万円）		事業所数		従業者数	
		順位		順位		順位
豊田市	15,171,656	1	789	6	112,454	1
倉敷市	3,878,611	2	705	12	37,752	7
大分市	2,765,977	3	368	30	22,871	16
岡崎市	2,576,403	4	664	13	46,995	4
姫路市	2,333,912	5	918	5	48,890	3
宇都宮市	2,188,265	6	501	19	32,617	10
福山市	1,716,351	7	1,106	4	39,966	6
尼崎市	1,461,334	8	714	10	33,218	9
豊橋市	1,390,038	9	715	9	35,042	8
明石市	1,385,328	10	289	41	24,886	13
富山市	1,383,015	11	786	7	43,316	5
和歌山市	1,357,134	12	577	15	23,037	15
東大阪市	1,165,490	13	2,417	1	49,629	2
八尾市	1,124,562	14	1,308	2	29,459	11
呉市	1,120,388	15	391	28	20,331	21
いわき市	973,587	16	535	17	24,032	14
高崎市	951,941	17	609	14	27,112	12
川越市	840,797	18	441	25	22,801	17
枚方市	771,342	19	279	43	17,743	25
船橋市	677,886	20	266	44	14,285	31

出典：宇都宮市 うつのみや産業振興ビジョン

(5) 本市製造業の産業分類別の状況

- ・製造業の産業分類別の従業員数を見ると食料品製造業が最も多く、次いで、生産用機械器具製造業，輸送用機械器具製造業の順に多くなっています。
- ・製造品出荷額等を見ると，飲料・たばこ・飼料製造業が突出して多く，化学工業，輸送用機械器具製造業が続きます。

図表4：宇都宮市の産業分類別（製造業）の製造品出荷額等，従業員数



出典： 宇都宮市 うつのみや産業振興ビジョン

(6) 市内工業団地、誘致企業の状況

- ・市内製造業の状況を見ると、宇都宮工業団地、瑞穂野工業団地、清原工業団地、河内工業団地、河内中小工業団地の5工業団地で事業所数の3割、従業員数の6割、製造品出荷額等の8割を占めており、工業団地に立地している事業所が大きな役割を果たしていることが分かります。
- ・事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移を見ると、本市全体の事業所数、従業者数が減少する中、工業団地の事業所数、従業者数は横ばいを維持しており、製造品出荷額等も大きく増加するなど、本市製造業をけん引しており、工業団地に多く立地する誘致企業が本市産業の中核を担っていることが分かります。

図表5：市内工業団地等の事業所数の推移



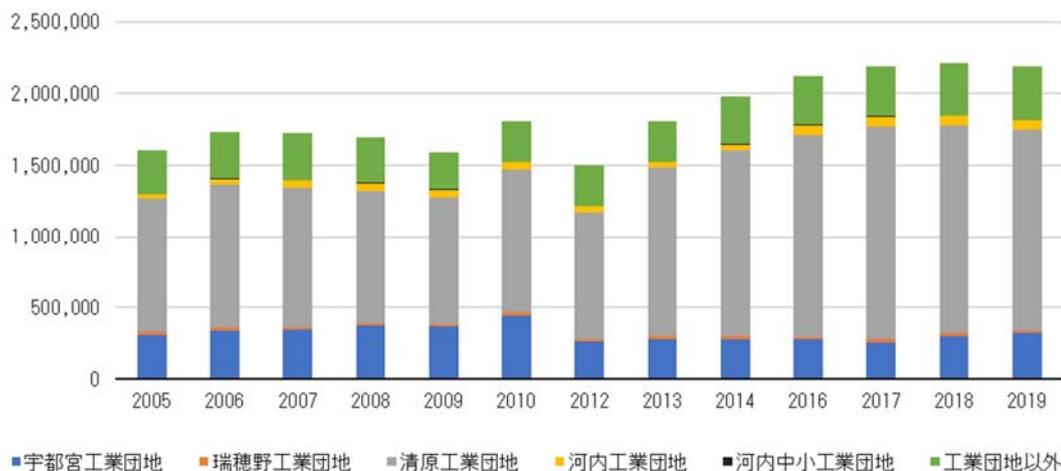
出典：宇都宮市 うつのみや産業振興ビジョン

図表6：市内工業団地等の従業員数の推移



出典：宇都宮市 うつのみや産業振興ビジョン

図表 7：市内工業団地等の製造品出荷額等の推移



出典：宇都宮市 うつのみや産業振興ビジョン

(7) 市内工業団地の現状

- ・宇都宮市には東北自動車道や北関東自動車道、新国道4号線をはじめとする国土軸レベルの高速道路・広域幹線道路のほか、JRや東武鉄道といった公共交通機関など、交通アクセス機能が充実しており、昭和40（1965）年前後から積極的な産業用地の整備が行われてきています。
- ・その結果、市北東部から南部にかけて7つの工業団地が整備され、特に鬼怒川兩岸にある宇都宮工業団地・清原工業団地には多くの大手企業の製造・開発拠点が集積しています。
- ・近隣市町において、産業用地の整備、分譲が進展するなか、宇都宮市内には現状分譲可能な産業用地が存在しないため、既存工業団地をはじめとした8つの産業拠点の活力を維持するとともに、新たな産業用地の開発に向けた動きを加速させる必要があります。

図表 8：市内工業団地の概要

名称	総面積 (㎡)	工場用地面積 (㎡)	立地面積 (㎡)	分譲率 (%)	分譲開始
河内工業団地	343,607	334,719	334,719	100%	昭和36年12月
宇都宮工業団地	3,041,000	2,431,000	2,431,000	100%	昭和37年9月
清原工業団地	3,876,292	2,647,726	2,647,726	100%	昭和49年4月
瑞穂野工業団地	301,920	199,305	199,305	100%	昭和52年11月
白沢工業団地	50,831	39,040	39,040	100%	昭和58年11月
インターパーク宇都宮南	1,374,568	723,000	723,000	100%	平成13年3月
宇都宮テクノポリスセンター	348,000	320,000	320,000	100%	平成17年3月

出典：宇都宮市 うつのみや産業振興ビジョン

2 本市の主な中小企業関連施策の実施状況

(1) 制度融資の活用実績

・本市の制度融資及び信用保証料補助金の利用状況は、リーマンショック後の2009（平成21）年をピークに減少傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降、再び増加傾向にあります。

図表9 宇都宮市制度融資の利用状況

単位：千円

年度	貸付金	融資	
	金額	件数	金額
H27	18,000,000	2,473	12,521,348
H28	16,000,000	2,150	10,772,739
H29	13,000,000	1,687	8,585,607
H30	12,000,000	1,429	7,233,417
R元	12,000,000	1,069	5,153,416
R2	19,500,000	1,984	16,673,030
R3	19,936,757	1,551	11,670,576

図表10 宇都宮市信用保証料補助金の利用状況

単位：千円

年度	市町村特別保証制度負担金		信用保証料補助金	
	件数	金額	件数	金額
H27	1,904	23,910	1,920	226,571
H28	1,669	21,549	1,665	190,371
H29	1,321	16,531	1,311	157,597
H30	1,218	14,013	1,149	135,580
R元	859	9,457	874	100,426
R2	1,050	19,699	1,688	325,898
R3	961	19,158	1,358	250,086

(2) 高度化設備設置補助金の活用実績

・中小企業の育成を促進するため、技術の高度化及び経営の合理化を図るために設置した設備投資に対して支援する補助金です。毎年度、30社程度の補助で推移しています。

- 対象：市内中小企業（製造業，特定サービス事業など，）
- 補助率：3%（小規模事業者は4%）
- 限度額：1,000万円
- 年度により，補助金の利用が増減します。

図表11 宇都宮市中小企業高度化設備設置補助金の利用状況

年度	小規模事業者		中小企業		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
H27	10件	3,594千円	23件	67,739千円	33件	71,333千円
H28	8件	9,805千円	27件	68,170千円	35件	77,975千円
H29	20件	16,815千円	22件	50,544千円	42件	67,359千円
H30	14件	12,604千円	27件	97,162千円	41件	109,766千円
R元	10件	9,855千円	25件	80,053千円	35件	89,908千円
R2	3件	4,040千円	27件	99,893千円	30件	103,933千円
R3	5件	1,892千円	25件	91,351千円	30件	93,243千円

(3) 特許等取得促進事業補助金の活用実績

・特許等の取得への意欲を喚起し、中小企業の製品・サービス及び技術の開発を促進するため、産業財産権出願に対する経費を支援する補助金です。

補助金の利用件数、補助額ともに、増加傾向にあります。

- 対象：市内中小企業（製造業，卸売・小売業，特定サービス事業等）
- 補助率：1／2
- 限度額：30万円

図表12 宇都宮市特許等取得促進事業補助金の利用状況

年度	件数	補助額
H27	17件(内製造業 8件)	1,992,658円
H28	18件(内製造業 5件)	2,872,960円
H29	23件(内製造業 10件)	3,841,148円
H30	25件(内製造業 16件)	3,116,778円
R元	17件(内製造業 12件)	2,491,419円
R2	28件(内製造業 7件)	3,950,868円
R3	21件(内製造業 5件)	2,500,761円

(4) 事業承継支援の状況

栃木県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携によるセミナーの開催のほか、市役所のスペースを提供した相談会の実施等を実施しています。

図表13 事業承継・引継ぎ支援センター 相談実績

年度	県内件数	市内件数	本庁舎
H29	250件	39件	一件
H30	339件	60件	一件
R元	209件	63件	一件
R2	208件	63件	一件
R3	438件	128件	2件

図表14 事業承継セミナー実績

年度	第1回目	第2回目	専門家向け
H30	30人(6月)	36人(10月)	-
R元	36人(6月)	45人(11月)	97人(8月)
R2	51人(12月) ※オンライン開催	—	—
R3	45人(1月)	—	63人(11月)

(5) 宇都宮まちづくり貢献企業認証制度の認証状況

- ・宇都宮CSRの目的は、本市のまちづくりの一環として、地域におけるCSR活動を活発化し、市民、企業、行政の円滑な連携による活力あふれるまちづくりを形成するとともに、CSR活動企業の社会的価値（信用）を高め、産業の振興を図るものです。
- ・「人づくり」「まちづくり」「環境」などのCSR活動を本市のまちづくりの重要な仕組みと位置づけ、活動に取り組む企業を宇都宮まちづくり貢献企業として認証し、企業・市民・行政の協働のまちづくりを行う仕組みです。

※CSRとは

Corporate Social Responsibility の略で、日本語では「企業の社会的責任」と一般に言われる。企業は社会の中で事業活動を展開するから、社会の一員である以上、社会に迷惑をかけてはならない、社会に期待される役割を果たす責任を持っているという意味合いを持つ

図表15 うつのみやCSR認証実績

年度	新規認証	未更新 ^{*1}	取消	計
H20	25	8	3	14
H21	32	5	2	25
H22	29	1	—	28
H23	17	2	—	15
H24	14	1	1 ^{*2}	12
H25	9	—	—	9
H26	14	—	—	14
H27	10	—	—	10
H28	17	4	—	13
H29	— ^{*3}	—	—	—
H30	3	—	—	3
R元	7	—	—	7
R2	0 ^{*4}	—	—	—
R3	8	—	—	8
合計	185	21	6	158

※1 更新しなかった主な理由は、メリットがない、手続き漏れなど

※2 会社の吸収合併により廃止した企業

※3 平成29年度の認証制度見直しにより、新規企業認証審査及び更新企業審査を実施しなかった。これにより、更新対象企業の認証期間を1年延長して対応

※4 新型コロナウイルス感染症による影響で新規企業の受付を見送り

<発行>

宇都宮市経済部商工振興課

〒320-8540

宇都宮市旭1丁目1番5号

TEL 028-632-2433 FAX 028-632-5420

Email u2310@city.utsunomiya.tochigi.jp